



楽しいけど力もいる「ジュースづくり」



大人ながらの「タイヤ交換」



上手に盛り付けようと、真剣なまなざし

勤労感謝の日の11月23日、三阪の産業学習館とその周辺で職業体験イベント「キッズマニワーク」が開かれました。真庭商工会青年部が毎年開き、今年で5回目。真庭市と新庄村の小学4年生から6年生まで106人が参加しました。大工やジェラート屋、介護士、くるま屋など16の仕事の中から好きなものを選んだ子どもたちは、その道のプロに教えてもらいながら、仕事のやりがいや難しさを体験していました。

音楽にふれながら交流 ゆばら音泉はんざきライブ

11月27日、湯原ふれあいセンターで「ゆばら音泉はんざきライブ」が開かれました。このイベントは、湯原温泉に音の泉があふれるようにとの思いを込め、去年に続いて2回目。はんざき小町の半崎美子さんや、倉敷市出身の双子姉妹デュオ・まゆみゆ、高梁市出身の男性歌手・Lugz & Jeraが出演し、にぎやかなステージを繰り広げました。訪れた約400人は音楽にふれながらお互いの交流を深めていました。



熱気に包まれたライブ会場



ドリルで開けた穴を探しながら種駒を打ち込む児童

11月21日、湯原小児童4年生20名と二川小3・4年生児童6名が、久見神社境内でシイタケの植菌体験をしました。児童は最初に県真庭地域森林課の職員より、自然や森林が持つさまざまな機能についての話を聞いた後、湯原林業研究会の指導のもと、電動ドリルでコナラの原木に穴を開け、原木に槌で種駒を打ち付けました。2年後には収穫できる予定で、各家庭に持ち帰ったり給食で利用される予定です。

11/21 リフトの準備完了!

ひるぜんベアバーレスキーフィールドでリフト搬器の取り付け作業が行われました。重さ約80kgの搬器を職員4人で持ち上げ、手際よくリフトに固定。ウインタースポーツの季節に向けた準備が着々と進んでいました。


11/25 温かい心伝わる作品展

真庭市身体障害者福祉協会の会員や福祉施設の利用者の作品を集めた真庭市障害者福祉展が、勝山文化センターで開かれました。木工作品や手芸品、絵画など約300点が並び、多くの人たちが鑑賞していました。


12/3 一足早いクリスマスを満喫

勝山保健福祉センターで「みんなで楽しいクリスマス会」が開かれました。勝山地域の親子約80人が、絵本の読み聞かせや手遊び、ハンドベルの演奏などで、一足早いクリスマスを楽しみました。


12/10 赤ヘルファンが集結!!

プロ野球・広島東洋カープの真庭ファンの集いが勝山文化センターで開かれました。25年ぶりのリーグ優勝を祝う「祝賀会」として開催。現役選手や元選手が特別ゲストとして招かれ、ファンとふれあいました。


12/14 野草を使ったカレーの味は?

地域資源の利活用に取り組む富原地域振興協議会が、真庭産の野草を使ったカレーの試食会を開きました。この日は勝山の放課後子ども教室わくわくクラブを訪問。子どもたちは初めての味に興味津々でした。



音楽家の演奏に聴き入る河内小の児童たち

11月29日、河内小学校と湯原小学校で、国内外で活躍する音楽家によるコンサートが開かれました。訪れたのは、ピアノ奏者の川崎翔子さんと佐野隆哉さん、フルート奏者の竹山愛さんの3人です。これはエスペラスホールで開かれるコンサートを前に、地域の子どもたちに一流の演奏を楽しんでもらいたいと、真庭エスパス文化振興財団が企画しました。子どもたちは間近で奏でられる華麗な音色に引き込まれていました。

**一流的の音色を楽しむ
アウトリーチコンサート**



元気よくスタートする子どもたち

足こぎ自転車で競走する「キッズライダー大会」が12月4日に久世河川公園で開かれ、3才と4才の子どもたち31人が参加しました。大会は今年で2回目で、久世地域の農商工業に携わる人たちで作る十日会が、子どもたちだけでなくその場にいる全員が楽しめる場を作りたいと始めた催しです。足で地面を蹴りながら、一生懸命ゴールを目指すキッズライダーの姿に、家族や観客たちは大きな声援を送っていました。

**地面を蹴って競走だ!
キッズライダー大会**



広報真庭
1月号
平成29年1月1日発行（通巻141号）

HIRUZEN YUKI * KOI FESTIVAL

ひるぜん雪恋まつり*

*2/4(±) 10:00~20:00 ▶ 2/5(日) 10:00~19:00

*蒜山高原・白樺の丘

年に1度の冬の祭典!雪遊びや体験コーナー、ご当地グルメを楽しめるほか、夜にはかまくらにキャンドルが灯されて雪景色の中に幻想的な風景が広がります。

間 薑山觀光協會 TEL0867-66-3220



まにあがスキッ!!

P 26の「久世新春ロードレース大会」か「新春木材ふれあいマラソン大会」のどちらかに参加します! 最近は寒さと仕事を言い訳にして、あまり運動していないんです。でも、ここで宣言すれば、重い腰を上げて少しは走らざるを得なくなるだろう…と、自分を追い込むために編集後記を利用しています。 升本

今回、人口減少を題材にした特集をしました。2040年の真庭市の人
口予想は、約32,400人。平成27年の
国勢調査結果から見ると、13,000
人以上の人団が減ると推計されて
いるんです。平成17年の国勢調査
結果は旧久世町の人口が約11,000
人。それ以上が減るって大変なこ
とです。



この広報紙は、環境にやさしい
植物油インキを専用しています



14

この印刷の一部には、水質保全に有効な
水なし印刷方式を採用しています。

